

勇壮なる霧島連峰

大自然の威容に圧倒された。広大な霧島連峰の山々は、美しく堂々とした佇まいで静かな時を刻んでいた。ここは鹿児島県と宮崎県の県境にあり大小 23 からなる火山があり、標高日本一の山頂火口湖「大浪池」をはじめ 6 つの山頂火口湖を擁している。霧島連峰の最高峰は韓国岳（からくにたけ）1700m。高千穂の峰 1574m、新燃岳 1420m などがあるが、その他予測のつかない活火山がいつ活動を再開するかわからない不気味さも秘めている。

なかでも高千穂の峰は典型的なコニーデ型複合火山で、西部には活火山の御鉢、東部には二つ石の寄生火山を従えた美しい姿をしている。宮崎県都城盆地周辺から直接その威容を望むことが



出来る。ここはしばしば発生する雲海に対し、山頂部が島のように見えることから霧島の名前の由来となったとか。なだらかな山麓は自然林に覆われ年中緑を蓄えているが、標高 1000m 以上になると赤褐色の地肌がむき出しになっている。火山の荒々しさ、険しさが山肌を削り取っている。

日本で最初に新婚旅行をしたとされる坂本竜馬とその妻お竜も高千穂の峰に二人で登ったとか。その頃からここは魅力ある山であったのであろう。

四季のある日本。ここ霧島連峰の野山にもそれぞれに美しい変化を演出してくれる。春はピンクに染まるミヤマキリシマ、夏は新緑が眩しい緑一色に。秋は紅葉全山が色付き、冬は霧氷の白で覆われる。自然は我々に四季折々の変化を知らせてくれるのだ。 撮影 2012 年冬

